

東北電力株式会社
女川原子力発電所
平成30年度(第3回)保安検査報告書

平成31年2月
原子力規制委員会

目次

1. 実施概要	1
(1) 保安検査実施期間	1
(2) 保安検査実施者	1
2. 女川原子力発電所の設備及び運転概要	1
3. 保安検査内容	2
4. 保安検査結果	2
(1) 総合評価	2
(2) 検査結果	4
(3) 違反事項	9
5. 特記事項	9

1. 実施概要

(1) 保安検査実施期間(詳細日程は別添1参照)

自 平成30年11月26日(月)

至 平成30年12月14日(金)

(2) 保安検査実施者

女川原子力規制事務所

佐々木正克

廣岡 慶長

野田 正徳

初岡 賢政

米倉 英晃

大江 勇人

橋 昌司

東通原子力規制事務所

大場 國久

山本 晋児

種市 隆人

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

小坂 淳彦

城内 忠

2. 女川原子力発電所の設備及び運転概要

号機	出力 (万kW)	運転開始年月	前四半期から保安検査終了日までの 運転状況
1号機	52.4	昭和59年6月	運転期間 — 停止期間 (平成23年3月11日～) 施設定期検査期間 (平成23年9月10日～)
2号機	82.5	平成7年7月	運転期間 — 停止期間 (平成22年11月6日～) 施設定期検査期間

			(平成22年11月6日～)
3号機	82.5	平成14年1月	運転期間 — 停止期間 (平成23年3月11日～) 施設定期検査期間 (平成23年9月10日～)

3. 保安検査内容

今回の保安検査では、以下に示す検査項目において、立入り、物件検査及び関係者への質問により保安規定の遵守状況を確認するとともに、日々実施している運転管理状況の確認、発電用原子炉施設の巡視等についても保安検査として実施した。

(1) 基本検査項目(下線は年度保安検査計画に基づく検査項目)

- ① マネジメントレビューの実施状況
- ② 内部監査の実施状況
- ③ 是正処置の実施状況
- ④ 保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況(抜き打ち検査)

(2) 追加検査項目

なし

4. 保安検査結果

(1) 総合評価

今回の保安検査においては「マネジメントレビューの実施状況」「内部監査の実施状況」「是正処置の実施状況」及び「保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況(抜き打ち検査)」を基本検査項目として選定し、検査を実施した。

検査の結果、「マネジメントレビューの実施状況」については、平成30年度上期のマネジメントレビューのインプットが、要領書等に従い、「監査の結果」「保安検査結果等を含む外部の受け止め方」等を含む10項目について、7室部所のデータを比較し、現状の課題及び対応方針として取りまとめていること、原子力安全推進会議のマネジメントレビューにおいて審議され社長からアウトプットが発出されたこと、管理責任者(原子力本部長)から社長アウトプットに基づく指示事項が発出されたことを、「平成30年度上期マネジメントレビューのインプット」「平成30年度(上期)原子力品質マネジメントレビューのアウトプット」等により確認した。

また、実施部門の管理責任者である原子力本部長にインタビューを実施した。

平成29年度第3回保安検査において指摘した、インプットにおけるデータ分析の改善については、不適合の発生低減や業務の改善に繋げるための更なる分析・評価の実施状況について、継続して確認していくこととした。

「内部監査の実施状況(本店検査)」については、要領書等に従い、平成29年度の内部監査計画が策定され、監査計画に基づき原子力QMS組織全体で25回の監査が実施され、不適合3件、改善要望9件、良好事例9件及び気づき27件という結果であったことを、「平成29年度下期 原子力品質監査実施結果について(報告)」等により確認した。

平成30年度の内部監査計画については、前年度の監査結果を踏まえ、重点監査項目として「文書管理・記録管理、力量」等が選定されていること、テーマ監査として新検査制度への発電所の準備状況等について確認するとしていることを、「平成30年度 原子力品質監査計画」等により確認した。

平成30年度上期の内部監査の実施状況については、監査計画に基づき、原子力QMS組織全体で11回の監査が実施され、不適合0件、改善要望2件、良好事例2件及び気づき12件という結果であったことを、「平成30年度上期 原子力品質監査実施結果について(報告)」等により確認した。また、実効性ある監査を実施するための継続的な改善として、現場観察等を取り入れていることを監査計画等により確認した。さらに、内部監査部門の管理責任者である原子力考査室長にインタビューを実施した。

「是正処置の実施状況」については、過去に発生した事象の中から抽出したヒューマンエラーが原因で発生した不適合事象について、要因分析、是正処置の検討等が適切に実施されていることを「詳細票(不適合処置)」等により確認した。「2号機RT作業に伴うエリア放射線モニタch. 9放射能高ANN発生」と同様事象発生対応については、是正処置の有効性レビュー等を行っていることを、「不適合是正・予防処置有効性評価書」等で確認するとともに、より効果的な対策を検討しようとしていることを聴取により確認した。また、ヒューマンエラー発生状況及び再発事象の発生を踏まえ、今後ヒューマンエラー対策の強化、不適合事象検討会での審議の質の向上等を図ろうとしていることを聴取により確認した。

「保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況(抜き打ち検査)」については、保全区域及び周辺監視区域の管理が適切に実施されていることを「巡視点検日誌(保全区域)」等により確認した。また、現場確認により平成29年度第2回保安検査で確認された、周辺監視区域境界の一部標識の文字のかすれ等について改善されていること、その他の柵及び標識に異常がないことを確認した。

保安検査期間中に運転検査官が発見した「女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について」は、有効期限切れの測定機器が貸出されていたこと、手順書に測定機器の有効期限を確認する手順がなく、また、作業員は有効期限の確認をしていなかったことを、「詳細票(是正処置／予防処置(不適合))」等及び聴取により確認した。また、この不適合事象を受けて各グループが保有する測定機器の保管状況を現場確認したところ、測定機器の1台に、有効期限及び管理番号の表示ラベルがないものを確認した。なお、有効期限切れの測定機器で測定されたデータは判定値として使用しているものではないことを「第7回女川原子力発電所デザインレビュー委員会議事録」等及び聴取により確認した。しかし、今後適切な改善を求めするため、注意として指摘し、今後保安検査等で確認する。

保安検査期間中の平成30年12月4日に発生した「1号機 MUWC系水張り時における漏えい」については、復水補給水系(以下「MUWC系」という。)の水張り時に、隔離札(以下「アイソレタグ」という。)を用いた系統構成確認が不十分であったこと、旧版の隔離等を行う配管等に色塗りした配管及び計装線図(以下「色塗りP&ID」という。)を使用して水張り手順を作成したこと等により、床ドレンへの排水に用いた弁を閉としておくべきところ全開状態となっていたことから、水張り時に当該弁から床ドレンラインの排水可能量を超えた水が排水され、階下等の床ドレンの目皿から逆流し漏えいに至ったものであること、漏えいした水はサンプリング分析の結果、検出限界未満であることを「詳細票(不適合処置)」等及び聴取により確認した。また、運転検査官による漏えい箇所の現場確認において、溢水範囲の区画を超えて漏えいが広がっていることを確認した。そのため、注意として指摘し、今後適切な改善を求めるとともに、保安検査等で確認する。

保安検査実施期間中の日々の運転管理状況の確認において、保安規定違反となる事項は認められなかった。また、定例試験(2号機非常用ガス処理系手動起動試験非常用3号機非常用ディーゼル発電機手動起動試験・燃料等確認試験(B))手動起動試験等)に立会い、体制、手順等について問題なく実施されていることを確認した。

以上のことから、今回の保安検査を総括すると概ね良好なものであったと判断する。

(2) 検査結果

1) 基本検査結果

① マネジメントレビューの実施状況

平成29年度に実施した保安検査で確認した「平成29年度上期マネジメントレビューのインプット」において、女川原子力発電所及び東通原子力発電所における不適合の発生件数、不適合区分別件数、平成21年度以降の発生件数推移、要因別発生状況、発見から1年以内の処置状況等が記載されていたものの、その内容が状況説明に留まっていたことから、平成30年度のマネジメントレビューでは、より一層のデータ分析が行われ、改善につながる有益なインプットとなっているかを確認することとし、東通原子力規制事務所と合同で検査を実施した。

検査の結果、平成30年度上期のマネジメントレビューのインプットは、「マネジメントレビュー要領」「実施部門マネジメントレビュー実施要領」「発電所長レビュー手順書」等に従い、「監査の結果」「保安検査結果等を含む外部の受け止め方」「プロセスの成果を含む実施状況」「予防処置および是正処置の状況」を含む10項目について、本店の5室部及び女川原子力発電所と東通原子力発電所の2ヶ所の発電所のデータを比較し、現状、課題及び対応方針として取りまとめていることを、実施部門及び内部監査部門の「平成30年度上期マネジメントレビューのインプット」「平成30年度上期品質保証活動を踏まえた主要な課題」等により確認した。

データ分析として「監査の結果」では、良好事例、不適合及び改善要望の件数を7室部所別及び品質保証項目別に分類し、比較して評価を取りまとめていた。

「保安検査結果等を含む外部の受け止め方」では、女川原子力発電所と東通原子力発電所に対する保安検査における違反、監視、指摘事項、新規制基準適合性審査における課題、地元自治体や住民からの意見、要望、WANO(世界原子力発電事業者協会)やJANSI(原子力安全推進協会)ピアレビューにおけるAFI(要改善事項)等及びそれらの対応や水平展開状況を評価しまとめていた。

「プロセスの成果を含む実施状況」では、人的資源として、時間外勤務の実績、トレンド、変動幅、最大・最小・平均、ばらつきを7室部所で比較して、各室部所の業務状況、教育・訓練の実施状況、必要資格の取得状況等を評価し取りまとめていた。また、原子力発電所の今後の状況を踏まえた原子力部門7室部所の人員計画についても取りまとめ、経営層にインプットしていることを聴取により確認した。さらに、業務の計画・実施として、運転管理、燃料管理、放射性廃棄物管理、放射線管理、保守管理、緊急時の措置(訓練の実施状況)、新規制基準の対応状況、ヒューマンエラー防止対策の実施状況、新検査制度への対応状況についても、女川原子力発電所と東通原子力発電所のそれぞれの状況を評価し取りまとめていた。

「予防処置および是正処置の状況」では、区分別の不適合発生件数、年度の推移、不適合発生要因、処置状況を評価し、それぞれの発電所や本店原子力部の課題として取りまとめていた。これらのインプット、課題及び対応方針は、平成30年11月7日に開催された原子力安全推進会議における平成30年度上期マネジメントレビューにおいて審議され、同日付で社長から「平成30年度(上期)原子力品質マネジメントレビューのアウトプット」が発出されたこと、平成30年11月12日付けで管理責任者(原子力本部長)から「平成30年度(上期)マネジメントレビュー時の社長アウトプットに基づく指示事項」が発出されたことを確認した。

発電所長レビューについては「原子力QMS マネジメントレビュー要領」及びその下位文書である「実施部門マネジメントレビュー実施要領」等に従って、実施されていることを発電所の品質保証会議議事録(平成30年10月2日開催)等により確認した。レビュー用資料は、品質保証総括グループが各部に対して依頼し、提出された資料を取りまとめた上で品質保証部長の確認を受けてインプットとしていることを確認した。発電所長のアウトプットは、ヒューマンエラー事象の再発防止対策の定着・風化防止を図るため、ヒューマンパフォーマンスツールの定着やチェック(C)と積極的な改善(A)を意識したPDCA活動を継続する等、品質マネジメントシステム及びプロセスの改善、業務の計画及び実施にかかわる改善、資源の必要性の3項目が示されていることを「平成30年度上期女川原子力発電所所長のアウトプット」により確認した。

また、実施部門の管理責任者である原子力本部長にインタビューを実施した。

平成29年度第3回保安検査において指摘した、インプットにおけるデータ分析の改善については、今回の保安検査で確認したが、今後は、不適合の発生低減や業務の改善に繋げるための更なる分析・評価の実施状況について、継続して確認していくこととした。

以上のことから、当該検査項目に係る保安規定の遵守状況は良好であると判断した。

②内部監査の実施状況(本店検査)

事業者の保安活動について、自らが客観的に評価するための内部監査が、適切に実施されているかを確認するために、平成29年度の内部監査の実施計画に対する実施状況を確認するとともに、平成29年度の実施結果を踏まえた平成30年度の計画への反映状況及び上期の内部監査の実施状況及び監査手法の継続的な改善の検討状況について確認することとし、東通原子力規制事務所と合同で検査を実施した。

検査の結果、内部監査に係る仕組みについては、関連する「内部監査要領」において、昨年度の本店検査で確認した以降、記載の適正化として1回の改正が行われていることを改正来歴表、決定書及び決定書添付の新旧比較表により確認した。

平成29年度の内部監査計画については、「内部監査要領」に基づき、前年度の監査結果を踏まえ、「文書管理・記録管理」「業務の計画・実施」「根本原因分析に基づく再発防止対策」が選定されるとともに、「ヒューマンエラー防止の取り組み」「再稼働に向けた取り組み」「品質方針の改正を踏まえた取り組み」が監査項目として選定されていることを、「平成29年度 原子力品質監査計画」、決定書等により確認した。

平成29年度の内部監査の実施状況については、監査計画に基づき、原子力QMS組織全体で25回の監査が実施され、力量管理、記録管理及び人的資源に関する不適合3件、文書管理、調達要求事項及びマネジメントレビューに関する事項を含む改善要望9件、良好事例9件及び気付き27件という結果であったこと、課題として、マネジメントレビューを通じた実施部門の取組を重点的に確認する必要があること、不適合管理についてはパフォーマンスの改善に着目した実効的な監査を実施する必要があること等を、「平成29年度下期 原子力品質監査実施結果について(報告)」等により確認した。

このうち女川原子力発電所については10回の監査が実施され、不適合2件、改善要望3件、良好事例5件及び気付き10件という結果であった。不適合1件については是正処置が実施されていること及び改善要望の3件については改善処置が実施されていることを監査実施結果及び別添資料により確認した。

平成30年度の内部監査計画については、前年度の監査結果を踏まえ、重点監査項目として、「文書管理・記録管理、力量」「不適合管理」「マネジメントレビュー」が選定されていること、テーマ監査として新検査制度に対する各種検査ガイド、フリーアクセス、リスク情報の活用等の準備状況に着目するとしていることを、「平成29年度下期 原子力品質監査実施結果について(報告)」「平成29年度下期 品質保証活動を踏まえた主要な課題」「平成30年度 原子力品質監査計画」等により確認した。

平成30年度上期の内部監査の実施状況については、監査計画に基づき、原子力QMS組織全体で11回の監査が実施され、不適合0件、改善要望2件、良好事例2件及び気付き12件であることを「平成30年度上期 原子力品質監査実施結果について(報告)」等により確認した。このうち女川原子力発電所については3回の監査が実施され、不適合0件、改善要望0件、良好事例1件及びマネジメントレビュー等に関する気付き6件あることを確認した。

実効性ある監査を実施するための継続的な改善については、平成27年度から技術専門家の招請、平成29年度から発電所のパフォーマンスの改善に着目した監査及び平成30年度から現場観察を実施していることを、監査計画等及び聴取により確認した。

また、内部監査部門の管理責任者である原子力考査室長にインタビューを実施した。

以上のことから、当該検査項目に係る保安規定の遵守状況は良好であると判断した。

③是正処置の実施状況

ヒューマンエラーにより繰り返し発生している事象が見られることから、是正処置の検討状況、是正処置の有効性レビュー、再発事案に対する対応内容等について実施状況を確認することとし、過去に発生した事象の中から事前に抽出したヒューマンエラーが原因で発生した不適合事象について検査を実施した。

検査の結果、原因分析及び是正処置の検討については「人的過誤事象分析要領」等に従い適切に実施され、検討結果が「詳細票(不適合処置)」に記録されていることを確認した。なお、一部の要因分析において技術的要因、作業の特性、管理の特性等について分析しているがそれを記録していなかったことから、事業者から今後記録として残すように工夫していこうとしていることを聴取により確認した。また、現状のヒューマンエラー発生状況を踏まえ、今までの対策の継続だけでなく、ハード対策も含めて対策の強化を図ろうとしていることを聴取により確認した。

再発事象への対応については、「2号機RT作業に伴うエリア放射線モニタch. 9放射能高ANN発生」の是正処置に基づき実施した作業で、同様な事象「1号機RT作業に伴うエリア放射線モニタch. 18放射能高ANN発生」が発生しており、事業者は、当初の是正処置が十分ではなかったと考え、今後品質保証総括グループで不適合を発生させた当該課と違った観点での検討・指導を行おうとしていること、不適合事象検討会での審議の質の向上を図って行こうとしていることを聴取により確認した。また、同様な事象が発生したことを受け、最初の事象の是正処置の有効性レビュー、2回目の事象の不適合処置等が適切に行われていることを、「不適合是正・予防処置有効性評価書」等により確認するとともに、作業員の被ばく防止といった本来の目的に合った、より効果的な対策を検討しようとしていることを聴取により確認した。

以上のことから、当該検査項目に係る保安規定の遵守状況は良好であると判断した。

④保全区域及び周辺監視区域の管理状況(抜き打ち検査)

発電所内の建屋外において、新規制基準適合に向けた大型土木工事等が実施されていることから、保全区域及び周辺監視区域の管理が適切に実施されていることを確認することとし、検査を実施した。

検査の結果、保全区域においては、表示による区別が確実に実施されて入域管理が「女川原子力発電所保全区域および周辺監視区域管理要領書」に従い適切に行われていることを「巡視点検日誌(保全区域)」等により確認した。周辺監視区域については、

業務上立ち入る者以外の立入り制限をするために設けられている柵や標識が「女川原子力発電所保全区域および周辺監視区域管理要領書」に従い適切に維持管理されていることを「巡視点検日誌(周辺監視区域)」により確認した。

現場確認においては、平成29年度第2回保安検査(平成29年8月28日から平成29年9月8日)で周辺監視区域境界に沿って設置された柵及び標識の検査で、一部の標識において文字のかすれや取付けが外れているところの確認されたものについては改善が図られていたこと、柵及び標識が「女川原子力発電所保全区域および周辺監視区域要領書」等に規定されている場所に設置されていることを確認した。

以上のことから、当該検査項目に係る保安規定の遵守状況は良好であると判断した。

2)追加検査結果

なし

3)その他

保安検査期間中に運転検査官が発見した「女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について」は、平成30年11月30日に電気グループが牡鹿幹線1号線等の復電作業時に母線間の位相測定を実施していたところ、作業終了後に位相測定に使用していたデジタル位相周波数計の有効期限が切れていたことが確認された事象である。本事象を受けて当該測定機器の使用状況を確認したところ、平成30年11月19日に牡鹿幹線1号線等の停電作業時にも当該測定機器を有効期限切れの状態で使用していることがわかった。本事象に関しては、当該測定機器が「工具管理手順書」で測定機器管理が必要な分類A対象と規定されているが、有効期限切れの測定機器が貸し出し確認者から位相測定担当者に貸出されたこと、有効期限切れの測定機器と健全な物と保管場所を分けて保管されていなかったこと、「保修業務実施要領書」に従い作成した手順書に測定機器の有効期限を確認する手順がなかったこと、作業前の読み合わせ及び事前確認で有効期限を確認していなかったこと等を、「詳細票(是正処置／予防処置(不適合))」等並びに聴取により確認した。また、この不適合事象を受けて各グループが保有する測定機器の保管状況を現場確認したところ、電気グループで管理している使用可能な測定機器を保管しているエリア内において、測定機器の1台に有効期限及び管理番号の表示ラベルがないことを確認した。なお、牡鹿幹線1号線等の停電・復電時の位相測定値については、あらかじめ技術評価により検証されていることから、参考値という位置づけのものであることを「第7回女川原子力発電所デザインレビュー委員会議事録」等及び聴取により確認した。しかし、当該事象は、測定機器の管理、業務に対する要求事項の明確化及び実施が不十分であったことから、今後適切な改善を求めため、注意として指摘し、今後保安検査等で確認する。

保安検査期間中の平成30年12月4日に発生した「1号機 MUWC系水張り時における漏えい」については、MUWC系の水張り時に、床ドレンへの排水に用いた弁が全開状態

であったことから、排水された水が、階下の床ドレンの目皿から逆流し漏えいに至ったものである。床ドレンへの排水に用いた弁は、当初当該弁を使用せずに水抜きを計画し、色塗りP&IDを作成していたが、後日水抜き期間短縮のため当該弁を追加して水抜きを計画し新色塗りP&IDを作成し当該弁を全開として平成30年11月13日から14日にかけて水抜きを実施した。その後水張り計画時に、水抜き完了後の全開状態の当該弁を閉とすべきところを、アイソレリストの安全処置及び復旧状態の確認が不十分であったこと、閉状態となっている旧色塗りP&IDを使用して水張り手順を作成し、その手順を管理職は確認していなかったことにより、水張り時点において当該弁が閉状態であると誤った認識のもと水張りが行われ、床ドレン排水可能量を超える排水をしてしまい階下等の目皿から水が漏えいしていたことを、「詳細票(不適合処置)」等及び聴取により確認した。また、運転検査官による漏えい状況の確認では、溢水範囲の区画を超えて漏えいが広がっていることを現場にて確認した。

当該事象は、業務の計画に関する要求事項及び溢水範囲の区画の識別管理の実施が不十分であったと考えられることから、今後の適切な改善を求めため、注意として指摘し、今後の保安検査等で確認する。

(3) 違反事項

なし

5. 特記事項

保安検査は、当初平成30年11月26日から平成30年12月7日の予定で実施することとしていたが、保安検査期間中の平成30年11月30日に「女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について」が確認され、更に平成30年12月4日に「1号機MUWC系水張り時における漏えい」が発生したことから、保安規定違反の疑いがある事案として事実確認が必要と判断し、保安検査終了日を平成30年12月7日から平成30年12月14日に変更した。

保安検査日程(1/3)

月 日	号 機	11月26日(月)	11月27日(火)	11月28日(水)	11月29日(木)	11月30日(金)	12月1日(土)	12月2日(日)
午 前	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> ●初回会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●2号機非常用ガス処理系手動起動試験立会い 	<ul style="list-style-type: none"> ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●3号機補助ボイラー設備定期事業者検査(L/T、安全弁封鎖試験)立会い 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ◎是正処置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ◇保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●中央制御室の巡視 	
	本店		<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ◎マネジメントレビューの実施状況(本店) 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ◎マネジメントレビューの実施状況(本店) ◎内部監査の実施状況(本店) 				
午 後	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◎是正処置の実施状況(発電所) ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 ●1号機IAバックアップ止め弁作動試験立会い 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 ●地震等発生時管理区域退域対応訓練立会い 	<ul style="list-style-type: none"> ◎是正処置の実施状況 ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ◇保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況 ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 		
	本店		<ul style="list-style-type: none"> ◎マネジメントレビューの実施状況(本店) ◎内部監査の実施状況(本店) ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム会議 ●まとめ会議 				
勤務時間外	(1, 2, 3)				<ul style="list-style-type: none"> ●中央制御室の巡視 			

○:基本検査項目 ◎:年度保安検査計画に基づく検査項目 ★:追加検査項目 ◇:抜き打ち検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等

保安検査日程(2/3)

月 日	号 機	12月3日(月)	12月4日(火)	12月5日(水)	12月6日(木)	12月7日(金)	12月8日(土)	12月9日(日)
午 前	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●3号機非常用ディーゼル発電機手動起動試験・燃料等確認試験(B)立会い ◎是正処置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●1号機非常用ディーゼル発電機手動起動試験・燃料等確認試験(B)立会い ◎是正処置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ◎是正処置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●1号機残留熱除去系(B系)確認運転立会い等 □1号機MUWC系水張り時における漏えいについて ◎是正処置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 □女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について 		
午 後	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◎是正処置の実施状況 ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ◎マネジメントレビューの実施状況 ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ◇保全区域及び周辺監視区域管理の実施状況 ●原子炉施設の巡視 ●2号機計装用圧縮空気系空気圧縮機予備機自動起動試験及びSAバックアップ弁動作試験立会い等 □女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ◎是正処置の実施状況 □女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 		
勤務時間外	(1, 2, 3)							

○:基本検査項目 ◎:年度保安検査計画に基づく検査項目 ★:追加検査項目 ◇:抜き打ち検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等 □:その他として検査した項目

保安検査日程(3/3)

月 日	号 機	12月10日(月)	12月11日(火)	12月12日(水)	12月13日(木)	12月14日(金)
午 前	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●2号機非常用ディーゼル発電機手動起動試験(HPCS系)立会い等 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 □1号機MUWC系水張り時における漏えいについて □3号機ランドリドレンタンク(A)への保護面落下 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●1号機非常用ガス処理系(A系、B系)手動起動試験立会い □1号機MUWC系水張り時における漏えいについて 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視 ●3号機熱交換器建屋非常用排風機手動起動試験立会い □1号機MUWC系水張り時における漏えいについて 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査前会議 ●運転管理状況の確認 ●中央制御室の巡視
午 後	(1, 2, 3)	<ul style="list-style-type: none"> □女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 ●3号機燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験立会い ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 □女川2号機共通母線受電切替操作における有効期限切れ測定機器の使用について ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●1号機計装用空気圧縮機予備機自動起動試験 ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●原子炉施設の巡視 ●チーム会議 ●まとめ会議 ●最終会議
勤務時間外	(1, 2, 3)					

○:基本検査項目 ◎:年度保安検査計画に基づく検査項目 ★:追加検査項目 ◇:抜き打ち検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等 □:その他として検査した項目